

自然の楽しさが詰まった

たくさんのブースがお出迎え

WELCOME FESTIVAL

大阪自然史
フェスティバル

2026 \ 11月14日(土)・15日(日) /
9:30～16:30 (入館は16:00まで)

関西文化の日

博物館・植物園
フェスティバル

入場無料

会場

大阪市立自然史博物館

【アクセス】 ■Osaka Metro御堂筋線「長居」3号出口→東へ800m ■JR阪和線「長居」出口→東へ1km

■主 催 / 認定特定非営利活動法人大阪自然史センター、大阪市立自然史博物館、関西自然保護機構
 ■特別協力 / 大阪市立長居植物園
 ■協 賛 / 独立行政法人環境再生保全機構（地球環境基金部／自然共生部）、協栄産業株式会社、株式会社ケンコー・トキナー、
 興和オプトロニクス株式会社、株式会社DIG、ハクバ写真産業株式会社、株式会社パレオ・ラボ
 ■協 力 / 大阪市立自然史博物館友の会、公益社団法人 大阪自然環境保全協会、谷口高司島絵工房、日本野鳥の会大阪支部

<https://www.omnh.net/npo/fes/2026/>

〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園1-23(認定特定非営利活動法人 大阪自然史センター内)
TEL:06-6697-6262 FAX:06-6697-6306 E-mail:fes2026@omnh.jp

大阪自然史フェスティバル事務局

※SNS #タグは「#自然史フェス2026」 フェスティバルの最新情報や寄付については右の二次元バーコードをチェック!



Illustrated by Yuji Hikino

両日とも開催!

◆ブース展示

出展団体による活動紹介や標本などの展示、自然をテーマとした参加体験型の工作・ゲームコーナーなど。生き物をモチーフとした作品の販売ブースもあります。

◆ワークショップ

様々な自然観察・自然保護教育プログラムを実施します。受付は当日会場で行います。

◆世界の双眼鏡・望遠鏡の展示・販売

ケンコー、コーワ、プロミナー、ハクバ、スワロフスキー、ベルボンなど、各社の双眼鏡・望遠鏡が勢揃いします。

講習会・体験講座

当日受付：イベント開始の30分前から受付

14日
土

はじめての鳥みたい(隊)!(探鳥会)

長居植物園内でバードウォッチングをします。野鳥を観察することが初めての方、まだあまり経験のない方も大歓迎です。

11月14日(土)10:30~12:00(雨天中止) / 参加費:無料 / 定員:先着40名
開催場所:長居植物園 / 主催:日本野鳥の会大阪支部

14日・15日
土 日

谷口高司鳥絵工房『谷口高司のタマゴ式鳥絵塾』

野鳥図鑑で有名なイラストレーター、谷口高司氏による楽しい鳥の絵の描き方講習会です。参加者にはオリジナル野鳥缶バッジをプレゼントいたします。

参加費:1,000円(画材代) / 定員:各回先着30名 / 開催場所:自然史博物館 集会室 / 主催:谷口高司鳥絵工房 / その他:画材の持ち込み不可、写真撮影・録音録画禁止、保護者の同席不可。小学3年生以上であればどの回も受講できますが、講座は対象年齢に合わせた内容で実施します。

[小学6~3年生:ヤイロチョウ]
11月14日(土)11:00~12:20
[小学6~3年生:シマエナガ]
11月15日(日)11:00~12:20
[大人~中学生:シジュウカラ]
11月14日(土)14:00~15:20
[大人~中学生:ヤイロチョウ]
11月15日(日)14:00~15:20



『タマゴ式 鳥絵塾』より ©T.Taniguchi

長居公園の生きものを探そう

長居公園で植物の観察や昆虫などの生きものを探してみよう。友の会評議員がやさしく案内するので、小さなお子さんから大人まで参加できます。

11月14日(土)・15日(日)11:00~12:00、14:00~15:00(小雨決行)
参加費:無料 / 定員:各回先着40名 / 開催場所:長居公園 / 主催:大阪市立自然史博物館友の会

講演会・シンポジウム

当日受付:講演開始の30分前から受付 / 参加費:無料 / 会場:自然史博物館 講堂 / 定員:先着170名
(YouTube大阪市立自然史博物館チャンネルでライブ配信します)

14日
土

講演会

もっと気軽に植物園! ~植物園の楽しみ方~

咲いている花を見るだけが植物園の楽しみ方じゃない。植物園と温室マニアとして、植物園の中の人として全国・各国の植物園の楽しみ方や視点を紹介します。

11月14日(土)14:00~16:00 / 講師:宮内元子氏(神戸市立森林植物園)
主催:関西自然保護機構



15日
日

野鳥の会講演会

ヤイロチョウ『幻の鳥』から『未来をつなぐ鳥』へ

世界のヤイロチョウについての貴重な講演と、日本でのヤイロチョウの分布変化の最新動向を踏まえて、「幻の鳥」から「保全すべき身近な鳥」という新たな視点を提示し、ヤイロチョウを通じて自然環境の変化と保全のあり方について考えます。

11月15日(日)10:00~12:00 / 講師・登壇者:松村伸夫氏(生態系トラスト協会会長)、中村滝男氏(生態系トラスト協会会長)、納家仁氏(日本野鳥の会大阪支部支部長) / 主催:日本野鳥の会大阪支部、公益社団法人生態系トラスト協会

野鳥の会講演会

どうなるコアジサシとセイタカシギの未来 ~大阪湾岸での生息地の保全や創出に向けて~

コアジサシは、来年も大阪湾に帰ってくるだろうか。セイタカシギが子育てできる湿地を、未来に残せるだろうか。全国のコアジサシやセイタカシギの現状、兵庫や奈良でのコアジサシ保護の取り組み、大阪府域における両種の現状などを踏まえ、大阪湾岸部における水鳥の生息地の保全や回復に向けての課題などを考えます。

11月15日(日)14:00~16:00 / 講師・登壇者:奴賀俊光氏(公益財団法人日本野鳥の会自然保護室)他 / 主催:日本野鳥の会大阪支部・公益社団法人大阪自然環境保全協会

今年は長居公園・長居植物園も特別協力!



長居植物園
NAGAI BOTANICAL GARDEN

自然史フェスティバルの開催にあわせて、花と緑と自然の情報センター入口エリア付近で自然の魅力に触れていただける特別なブース出展や展示を実施します。フェスティバルの入場前から、身近な自然や生きものへの興味・関心を深めていただける内容となっています。当日はセレッソ大阪のブースも出展予定です。ぜひ入口エリアからゆっくりとお楽しみいただき、自然史フェスティバルならではの学びと発見に満ちた一日をお過ごしください。

出展団体

芥川倶楽部&あくあび芥川、applemint、アトリエエイチ、Atelier Citrus、いきものクッキーアート専門店kurimaro collection、育英高等学校科学部、池田・人と自然の会、伊丹市昆虫館・伊丹市昆虫館友の会、芋活.com、UMINOWATARU、うみハマ、Nおおさか(NOB、サン/Pin大阪、夢洲・)、大阪海さくら、大阪公立大学 恐竜愛好会ジェラシックバー君、大阪産業大学 森・川・田んぼプロジェクト、大阪市エコボランティア・大阪市環境局、公益社団法人大阪自然環境保全協会 海の観察会連絡会、公益社団法人大阪自然環境保全協会 タンポポ調査大阪実行委員会、認定特定非営利活動法人大阪自然史センター【はくらが】、大阪市立自然史博物館友の会、きのこ好きのためのキノコサロン、岐阜県立森林文化アカデミー、協栄産業株式会社、NPO法人共生の森、きょうと生物多様性センター友の会、近畿地学会、近大ホネホネ団と(株)アクアタイム、くまばち造形雑貨店、株式会社ケンコー・トキナー、ゲンジ屋、原生生物学会 若手の会、鉱物&カフェMineralMuru、工房さわへび、工房しのわづり、興和オプトロニクス株式会社、さえずり本舗、堺自然観察会、堺自然ふれあいの森、里山保全プロジェクト SPICA、ジェイド・シャロットのいきもの支店、四條畷学園大学看護学部クラブPOT、JiM&Kaeruking、ジュニア自然史クラブ、一般社団法人知床羅臼町観光協会、水中小窓、STUDIO SAIZU、segasworks、全国カヤネズミ・ネットワーク、谷口高司鳥絵工房、地域のツバメ見守り隊、TEAM魚っしょい!、鳥類標識調査グループ・関西、DIG博、てこぼさんと博物館、友の会読書サークルBooks、鳥マニアキッズ&へなちょこ母、nice seen design、なにわホネホネ団、奈良教育大学自然環境教育センター、奈良植物研究会、nicopi、錦織公園 河内の里倶楽部、西宮市貝類館、日本応用地質学会関西支部、特定非営利活動法人日本チョウ類保全協会、特定非営利活動法人日本バードレスキュー協会、日本野鳥の会大阪支部、寝屋川市自然を学ぶ会、能勢町教育委員会、NOTARI、BIRD CREATE、スワロフスキー・オブティック、鉢ヶ峯の自然を守る会、葉っぱ案内所、はねはね団、株式会社バレー・ラボ、PIZZA ROTOLO、兵庫県立大学淡路キャンパス(兵庫県立淡路景観芸術学校)、ヒョウモンモドキ保護の会、piyopiyo-brand、枚岡公園管理事務所、枚方いきもの調査会、びわこベース、フィギュアラ生物群、PuPuPu Petit@Petit BAKERY&KITCHEN、プレコ暮らし、ホエールアートミュージアム、星の方舟、ぼてとうる、まーりん工房、mia goods、みつばちの巣、蜜林堂、緑の地球ネットワーク、真面公園昆虫館、むいむいのお時間、猛禽類医学研究所、木象殿こみつ亭、森の工房ばんどり&SHIMASATOMI museum、森の採色標本、野鳥生活、野鳥連れ歩き隊、山と人をつなぐ会、淀川水系イセナバラ保全市民ネットワーク、WILD・LIFE(50音順)